



2021年1月22日

各 位

上場会社名 日本プロセス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 上石 芳昭
(コード番号: 9651)
問合せ先責任者 取締役財務統括 坂巻 詳浩
(TEL: 03-4531-2111)

2021年5月期第2四半期決算に対するご質問と回答について

当社は、2020年12月25日に2021年5月期第2四半期決算短信を発表しましたが、機関投資家やアナリストからご質問を受けましたので、当社Webサイトにて回答を公開いたします。

Q：新型コロナウイルス感染症拡大の状況下、事業面での影響はいかがでしたか？

A：社会経済活動全体で停滞するものと見込んでいましたが、リモートワークの増加やDXの進展などによりクラウド環境へのニーズが増加したことで、データセンター向けサーバーの半導体記憶装置（SSD）開発やクラウド環境の構築作業などが堅調に推移しました。一方で、自動車販売台数が減少したものの自動運転/ADAS関連は好調だった一方で、既存のエンジン/変速機は開発量が減少しました。今後につきましても不透明な状況が継続するものと思われませんが、現時点では概ね計画通りに推移するものと考えております。

Q：現中期経営計画の最終年となりますが、次期中期経営計画の課題は何ですか？

A：現中計では、自動運転/ADAS関連を大きく拡大し主力事業化することができました。また、IoTでは建設機械関連で体制を拡大し、AIやロボティクスにも取り組んでまいりました。次期中計に向けては、制御・組込系システム開発に強みを持つ企業であることから、社会インフラに関わるさらなる注力分野の開拓に向けて、地道な営業活動や必要となる技術習得を強化してまいります。

Q：日本プロセスが今後も成長していくために必要となるものは何だと考えていますか。

A：まず、働きやすい環境、設備、技術教育などに投資し、生産性・品質・技術力が向上した結果が売上・利益の拡大につながり、成果主義による評価でしっかりと社員に還元する、この一連の流れが「持続的な成長のサイクル」であると考えています。この「持続的な成長のサイクル」を継続していくことで、企業価値向上を図り株主の方にも還元してまいります。

以 上

【経緯】

当社は、2021年1月15日に決算説明会（機関投資家、アナリスト向け）を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大が懸念される状況を踏まえ、参加者の皆様及び当社関係者の健康と安全確保を第一に考慮した結果、開催を中止することを決定致しました。その代替といたしまして、決算内容に関するご質問を受付けることと致しておりました。

【本件に関するお問い合わせ】

日本プロセス株式会社

経営企画部 米島、中辻

MAIL : ir.keikibu@jpd.co.jp